

2026年7月1日
広島国際空港株式会社

広島空港民営化5周年のお知らせ

— 皆さまへの感謝を胸に、安全・快適な空港づくりをこれからも —

当社が運営する広島空港は、2026年7月1日に民営化5周年を迎えます。

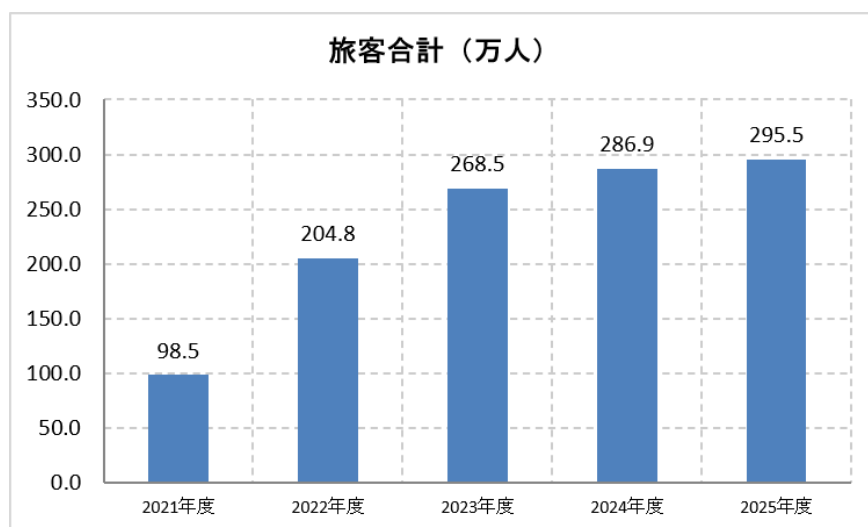
この5年間、日頃よりご利用いただいている皆さま、地域の皆さま、そして関係者の皆さまの温かいご支援に支えられ、ここまで歩んでくることができました。心より感謝申し上げます。民営化当初は新型コロナウイルスの影響により厳しい環境下にありましたが、安全・安心を最優先にした空港運営と旅客サービス向上への取り組みを着実に進めてまいりました。

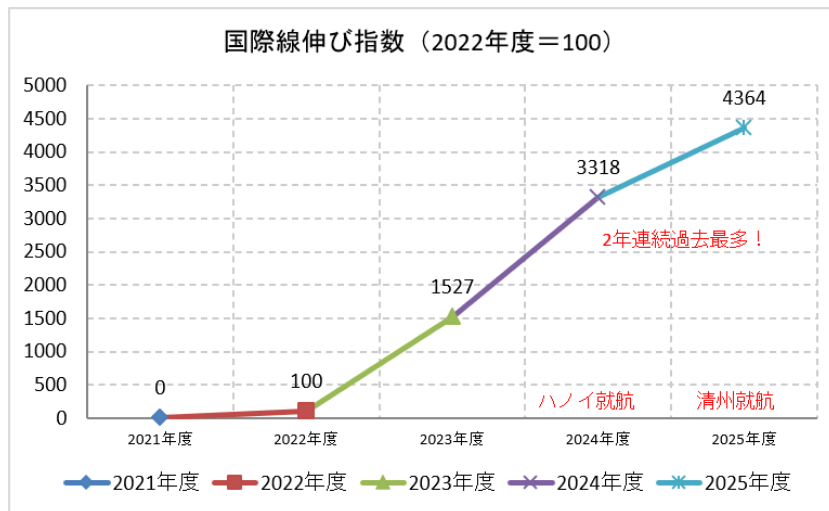
<過去5年間の歩み>

民営化以降、広島空港では旅客数の回復と路線ネットワークの拡充に取り組んでまいりました。コロナ禍からの回復とともに国際線の復便・新規就航が進み、旅客数は着実に回復し、成長を見せています。

2025年度には国際線旅客数が2年連続で過去最多を更新し、免税売店売上も過去最高を記録しています。

コロナ禍での運営開始以降、国際線においては、2023年1月に台北路線、7月にソウル路線、8月に大連・北京路線、9月に上海路線、2024年5月にハノイ路線、11月に香港路線、2025年7月には清州路線と、復便または新規就航への取り組みを行いました。





その他、2023年4月に立体駐車場の供用開始、5月にはG7広島サミット開催の空の玄関口として各国首脳の来広に伴う特別機等受入対応、10月には現在の三原市に移転してから空港開港30周年を迎えました。2024年7月にはレンタカーポート開設、12月には旅客ターミナルビル東側増築工事が完成するなど、航空ネットワークの拡充、交通アクセスの強化、顧客満足度の向上、地域との共生、安全・安心、持続可能性の確保に取り組み運営を行ってまいりました。

<現在の取り組み>

現在、広島空港では、2025年9月に着工した旅客ターミナルビル増築改修工事を着実に進めており、2027年3月の全工事完了を目指しています。工事の進捗にあわせ、利便性向上と空港機能強化を段階的に図ってまいります。

<今後に向けて>

広島空港は、引き続き「地域のチカラを、世界とツナグ。」というビジョンのもと、現在進めている旅客ターミナルビル増築改修工事などの取り組みを着実に進めながら、安全・快適で魅力ある空港サービスの提供に努め、地域の発展に貢献してまいります。

これまで皆さまの変わらぬご愛顧に支えられてきたことに感謝し、その思いを大切にしながら、今後も歩みを進めてまいります。